

# 日本農業における企業者活動

—東畑・金沢理論をふまえた農業経営学の展開—

高橋 正郎 著(元日本大学教授)

A5判上製・370頁 ●定価(本体4,200円+税) ISBN978-4-89732-305-3 C3034

危機的状況にある日本農業を再建するために、今求められる農業理論は何か。それは、経営学に裏打ちされた農業理論である。半世紀を超える研究活動の集大成として、原点の「農業経営学」を問い直し、日本農業再構築の道筋を示す。

## ■主要目次

序章 「農業経営学とは何か」を再び問う

—若き日の学問遍歴を振り返りながら—

第I部 東畑主体論・中川経営史学から学ぶもの

第1章 「東畑主体論」とその継承

—「単なる業主」と「企業者」をめぐって—

第2章 中川経営史学における企業者活動とその源泉

第3章 経営史学方法で「東畑主体論」を読み、本書の主題を問う

—主題「主体・環境系」論から見た「単なる業主」—

第II部 農業経営学の社会科学的基礎を求めて

—経営二重構造論から学ぶもの—

第4章 金沢農業経営学の特質と論点

—二重構造論的農業経営学の形成とその意義—

第5章 社会科学の共通論題としての環境決定論と主体選択論

—二元論から二重性論へ、二重構造論の意義—

第III部 日本農業の環境変化と新しい担い手の形成

第6章 近現代における日本農業の「主体」と「環境」の変遷

第7章 規制緩和と新しい担い手の出現

第8章 農業生産法人の展開とわが国農業に占めるウエイト

第9章 「企業的農業生産法人」のケーススタディ

第IV部 農業経営学の理論構築に向けて

第10章 高橋農業経営学を再論するにあたって

—初期論考に対する評価と批判をふまえて—

第11章 農業経営学における「主体・環境系」論の理論フレーム

第12章 求める主体は「農業における企業者活動」の担い手

—農業経営主体論・農業経営政策論に関連して—

第13章 農業経営学の体系

—企業戦略論・経営管理論・農学的技術論—

第14章 企業的農業経営の組織形態

第15章 農業経営における「企業者活動」

—農企業におけるビジネス・チャンス—

終章 農業における「企業者活動」を「木」から「森」へ

ご注文は、FAX 03-3511-0059 へお申込み下さい。

●取次搬入予定日：9月24日 ●配本の都合上9月12日までにご返信をお願いいたします。

新刊委託	番線印	高橋 正郎 著/著
	注文数	日本農業における企業者活動 —東畑・金沢理論をふまえた農業経営学の展開— 本体4,200円+税 ISBN978-4-89732-305-3 C3034
	冊	発行： 農林統計出版